

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月27日		記入者		連絡先	2628
平成18年度部名	保健福祉部		課名	高齢者福祉課		課長名 市川正美
平成19年度部名	保険高齢部		課名	高齢者福祉課		課長名 市川正美
事務事業名	高齢者保健福祉計画推進事業					
予算上の事務事業名	高齢者保健福祉計画推進事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
老人福祉法第20条の8、老人保健法第46条の18、介護保険法第117条						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	第3期高齢者保健福祉計画			高齢社会を迎える本市の高齢者の保健、福祉、介護、社会参加の促進と生きがいづくりの支援などに係る施策を含んだ総合的な計画		
計画年次	平成18年度	～	平成20年度			
4 事業形態の区分	計画の策定・推進			5 事業開始年度	平成5年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
高齢者保健福祉計画の進行管理及び第4期計画の策定(3年ごとに行われる計画の見直し)を適切かつ円滑に行うため、進行管理組織(高齢者保健福祉推進会議)を設置する。					高齢者等	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
推進会議の開催(2回) 8月10日、3月8日 市民委員の公募、推進会議委員の委嘱						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
高齢者保健福祉計画は市町村単位で策定しており、見直しの時期も同一である。						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	5,578	9,095	159	7,555	9,095	
一般財源	5,578	9,095	159	7,555	9,095	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	3,228	6,440	1,610	3,220	6,440	
事業コスト合計	8,806	15,535	1,769	10,775	15,535	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	保健福祉推進会議の開催(出席謝礼)			対象名称 と単位	会議出席委員数(人)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	230	597	139	255	765	
対象数	53	133	31	60	180	
単位あたり経費(円)	4,340	4,489	4,484	4,250	4,250	
前年度比		1.03	1.00	0.95	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	推進会議開催回数	指標式と指標の説明	高齢者保健福祉推進会議の開催回数（回）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	3.0	9.0	2.0		
目標	3.0	9.0	2.0	3.0	9.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	推進会議出席者数	指標式と指標の説明	出席者数÷（委員数×開催回数）×100（％）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	53.0	133.0	31.0		
目標	60.0	180.0	40.0	60.0	180.0
目標達成度（％）	88.3	73.9	77.5		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
法令により策定することが義務付けられている計画であり、高齢者福祉施策の基になるものとして、今後も策定する必要がある					
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
平成19年度の組織改正により保険高齢部が創設されたことによる、関係各課との連携の強化			第3期計画における設定目標の達成状況や各種事業の実施状況を考慮した上で第4期計画を策定する		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
より効果的な事業の実施を進める。					